

令和6年1月29日

保護者 様

佐世保市立針尾小学校
校長 前川 直樹

令和5年度 学校評価の結果について

厳寒の候、地域及び保護者の皆様には日頃から教育活動に対しまして、ご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

さて、ご協力いただいた学校評価の集計が整いましたので、その結果及び考察等についてお知らせいたします。お忙しい中にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。いただいた結果を全教職員で真摯に受け止め、これからの教育活動の改善に生かしてまいります。

つきましては、学校評価の結果をご覧いただき、本校教育活動の成果と課題をご理解いただくとともに、これからも子どもたちの健やかな成長のために、連携を深めていただきますようよろしくお願いいたします。

令和5年度 学校評価アンケート結果(地域・保護者)

	No.	評価項目	平均		地域		保護者	
			R5年度	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度	R4年度
子どもの様子	1	子どもは、学校に行くのを楽しみに元気に登校している。	3.6	3.7	4.0	4.0	3.2	3.3
	2	子どもは、早寝、早起き等、規則正しい生活をしている。	3.2	3.5	3.4	3.7	3.0	3.2
	3	子どもは、くつ並べ等、整理整頓ができる。	3.4	3.3	3.9	3.8	2.8	2.7
	4	子どもは、挨拶・返事・お礼を言うことができる。	3.3	3.5	3.5	3.7	3.1	3.3
	5	子どもは、意欲的に学習に取り組んでいる。	3.2	3.2	3.6	3.5	2.7	2.9
	6	子どもは、自分や他の人の命を大切に、やさしく思いやりがある。	3.7	3.7	4.0	3.8	3.3	3.5
教師の様子	7	先生たちは、明るく元気で相談しやすい。	3.7	3.6	4.0	4.0	3.3	3.1
	8	先生たちは、子どものことを理解し、授業もわかりやすい。	3.6	3.5	3.9	3.8	3.2	3.1
	9	先生たちは、子どもたちに生活のルールを身に付けさせたり、学力を向上させたりしようと努力している。	3.7	3.6	4.0	3.8	3.4	3.3
学校の様子	10	学校は、命に関する教育や環境づくりをしたり、子どもが生き生きと活動できる活動内容を工夫したりしている。	3.6	3.6	3.9	4.0	3.3	3.1
	11	学校は、地域との連携を図っている。	3.7	3.6	3.9	3.7	3.4	3.4
	12	学校は、めざす子ども像の実現や子どもの夢の実現のために工夫や努力をしており、その教育活動に満足している。	3.5	3.4	3.9	3.7	3.1	3.1
	13	学校は、人権教育を推進し、人としての尊厳と責務を重んじる教育をしている。	3.6	3.4	3.9	3.5	3.3	3.2
	14	学校は、安全に学習できる環境づくりをしている。	3.6	3.6	3.9	3.7	3.3	3.4
			3.5	3.5	3.8	3.8	3.2	3.2

【考察】

○昨年度と比較して、ポイントが14項目中、平均では「up」が7項目・「down」が3項目、地域では「up」が9項目・「down」が3項目、保護者では「up」「down」ともに6項目となっています。

○地域・保護者ともに「up」の項目

- ・No.3「子どもは、くつ並べ等、整理整頓ができる。」
- ・No.7「先生たちは、明るく元気で相談しやすい。」（地域は昨年度同様4.0）
- ・No.8「先生たちは、子どものことを理解し、授業もわかりやすい。」
- ・No.9「先生たちは、子どもたちに生活のルールを身に付けさせたり、学力を向上させたりしようと努力している。」
- ・No.13「学校は、人権教育を推進し、人としての尊厳と責務を重んじる教育をしている。」

○地域・保護者ともに「down」の項目

- ・No.2「子どもは、早寝、早起き等、規則正しい生活をしている。」
- ・No.4「子どもは、挨拶・返事・お礼を言うことができる。」

○No.3について、校内では、特に玄関の靴やトイレのスリッパ並べがよくなってきましたが、評価の数値はまだまだ低いようです。今後、「いつでも」「どこでも」という視点で継続して指導をしてまいります。

○No.2・No.4について、全項目の中でも低い評価となっています。「一人一人が輝く学校」をめざすためには、規則正しい生活を送り、何より健康であることが一番です。睡眠の重要性やメディアとの正しい関わり方など、学年に応じた指導を強化してまいります。

「挨拶・返事・お礼」についても、誰もが幸せな生活を送るために不可欠なことです。特に「挨拶」は全校で取り組んでいる行動目標の一つであり、日々子どもたちに指導しております。さらに、児童会活動でも子どもたちが主体となって「笑顔であいさつをする学校づくり」に取り組んできました。今後、さらに学校での取組を学校だよりやホームページで発信し、家庭・地域と連携しながら、挨拶・返事・お礼の大切さや必要性について一体となった啓発を継続的に行ってまいります。引き続きご協力をお願いいたします。

○No.5「子どもは、意欲的に学習に取り組んでいる。」が、昨年度同様低い評価となっています。「授業改善」と「家庭学習」の両面で、注力していきます。

子どもたちに「確かな学力」を付けるために一人一台端末の活用やユニバーサルデザインの導入など一人一人に応じた指導について研究を重ねています。同時に、子どもたちが支持的風土の中で安心して学習に取り組むことができるよう「学習規律の徹底」や「互いを認め合う仲間づくり」に力を入れているところです。今後も一人一人の特性や能力に応じ、意欲をもって取り組み「できた」「わかった」の喜びを実感できるような授業づくりに努めてまいります。

家庭学習（宿題や自主学習）は、学力の定着や自主的に学びに向かう力の育成をねらいとして取り組ませています。学習状況調査や生活アンケートによると本校の子どもたちは、家庭学習に取り組む時間が短く、メディアを使用する時間が長い傾向にあります。基礎・基本の力は、繰り返し練習した分だけ、確実に身に付いていきます。しかし、学校での繰り返し学習だけではなかなか定着しません。そこで、家庭の協力を得ながらしっかりと「基礎・基本」の力を付けさせたいと思います。

「学びに向かう意欲」や「確かな学力」は、子どもたちの未来に大きく関わっていきます。学校でも、「わかる授業」となるよう授業改善を進めてまいりますので、その学びを確実なものにするために「家庭でも学習する習慣」になるよう、ご協力をよろしくをお願いいたします。

○4点満点中、平均3.0をボーダーラインとすると、全体的に高い評価をいただいております。目標値を3.5としていますので、到達できていない項目については、再度方策等の見直しを図ってまいります。